



Newspaper in Education

記事を読んで、問いに答えましょう。

# 静岡新聞で学ぼう



2022年 12月6日朝刊

## 不適切管理のプラごみ 倍に



プラスチックごみがたまる川岸に立つ  
ハクチョウ♀4月、セルヒア・ベオラ  
ランド（AP共同）

### 2040年 国連予測

国連環境計画は5日までに、管理が不適切なプラスチックごみの量が2040年に2・5倍に膨らみ、環境中への流出も大幅に増えるとの報告書をまとめた。一方、プラスチックの使用自体を抑えリサイクル

### 対策次第で「海洋流出8割減」

を進めるなど対策を強化すれば、海への流出を40年に80%減らすなど汚染の低減が可能だとしている。

報告書は、管理が不適切なプラスチックは世界全体で15年に6千万〜9900万ト

に上ったと推計した。16年には1000万トが海に、3100万トが陸の環境中に流出し、4900万トが野焼きされたと見積もる。

こうした不適切管理のプラスチックの量は40年に2・5倍になると予測している。対策を強化しなければ、海への流出は2300万〜3700万トになるとの推計を示した。

各国が積極的に対策を進めれば海への流出を80%減らせるという指摘。製造から廃棄までの段階で生じる温室効果ガス排出を25%削減できるとした。

必要な対策はプラスチック

の使用削減、リサイクルの推進、あらかじめ再利用や再資源化を想定した製品設計を挙げた。廃棄物管理が不十分な国へのプラスチック輸

出禁止の徹底も重要だとしている。リサイクルの中で環境負荷が低い手法として、回収後に粉碎して汚れを取り除き、再び原材料に使うやり方を示した。日本政府がリサイクルと位置付ける、プラスチックを燃やして熱を利用する手法には言及していない。

プラスチックを巡っては、環境汚染を防ぐため各国が国際条約制定に向け協議中。

今年2日までウルグアイで1回目の政府間交渉があり、廃棄物の管理強化に加え、資源採掘や製品設計段階にさかのぼった規制などが論点に挙がった。24年末まで計5回の会合を開き、合意を目指す。

①記事の口にあてはまる数字を書きましょう。(        )

②2016年の「管理が不適切なプラスチック」の海や陸の環境中への流失は、それぞれ約何万トンに上ると推計されていますか。

海(                      )トン、陸(                      )トン

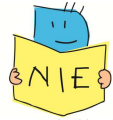
③プラスチックごみの海への流失を2040年まで80%減らすためには、何が必要と考えられていますか。

④「管理が不適切なプラスチック」を減らすために、今後どんな対策が必要だと思いますか。記事を参考に、あなたの考えを30字以内にまとめて書きましょう(句読点を含みます)。


作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校／社会、理科、道徳、特別活動、総合)

年 組 名前



Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう

解答例



2022年 12月6日朝刊

記事を読んで、問いに答えましょう。

## 不適切管理のプラごみ 倍に



プラスチックごみがたまる川岸に立つ  
ラクトヨウ4月、セルヒア・ベオラ  
リード（AP共同）

### 2040年 国連予測

国連環境計画は5日までに、管理が不適切なプラスチックごみの量が2040年に2・5倍に膨らみ、環境中への流出も大幅に増えるとの報告書をまとめた。一方、プラスチックの使用自体を抑えリサイクル

### 対策次第で「海洋流出8割減」

を進めるなど対策を強化すれば、海への流出を40年に80%減らすなど汚染の低減が可能だとしている。

報告書は、管理が不適切なプラスチックは世界全体で15年に6千万〜9900万トナ上ったと推計した。16年には1000万トが海に、3100万トが陸の環境中に流出し、4900万トが野焼きされたと見積もる。こうした不適切管理のプラスチックの量は40年に2・5倍になると予測している。対策を強化しなければ、海への流出は2300万〜3700万トになるとの推計を示した。

各国が積極的に対策を進めれば海への流出を80%減らせる。製造から廃棄までの段階で生じる温室効果ガス排出を25%削減できるとした。

必要な対策はプラスチック

の使用削減、リサイクルの推進、あらかじめ再利用や再資源化を想定した製品設計を挙げた。廃棄物管理が不十分な国へのプラスチック輸出禁止の徹底も重要だとしている。

リサイクルの中で環境負荷が低い手法として、回収後に粉碎して汚れを取り除き、再び原材料に使うやり方を示した。日本政府がリサイクルと位置付ける、プラスチックを燃やして熱を利用する手法には言及していない。

プラスチックを巡っては、環境汚染を防ぐため各国が国際条約制定に向け協議中。今年2日までウルグアイで1回目の政府間交渉があり、廃棄物の管理強化に加え、資源採掘や製品設計段階にさかのぼった規制などが論点に挙がった。24年末まで計5回の会合を開き、合意を目指す。

①記事の口にあてはまる数字を書きましょう。( 2.5 )

②2016年の「管理が不適切なプラスチック」の海や陸の環境中への流失は、それぞれ約何万トンに上ると推計されていますか。

海( 1100万 )トン、陸( 3100万 )トン

③プラスチックごみの海への流失を2040年まで80%減らすためには、何が必要と考えられていますか。

プラスチックの使用自体を抑えリサイクルなどの対策を強化すること。

④「管理が不適切なプラスチック」を減らすために、今後どんな対策が必要だと思いますか。記事を参考に、あなたの考えを30字以内にまとめて書きましょう(句読点を含みます)。

プラスチックに代わる製品を使用する生活に切り替える。(26字)

廃棄しても資源に変わるプラスチックのみ使用できるようにする。(30字)

廃棄プラスチックが完全にリサイクルされる仕組みをつくる。(28字) など

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校/社会、理科、道徳、特別活動、総合)

年 組 名前